

令和 6 年度 壱岐市立志原小学校学力向上プラン

【学校教育目標】 志を持ち、学力と人間力を育む児童の育成

【志】夢や目標を持ち、たくましい子ども

【学力】よく学び、粘り強く考える子ども

【人間力】心をみがき、やさしい子ども

各学力検査による児童の学力と課題及び要因

(課題) 国語・・・「読む」

算数・・・「数と計算」領域、「測定・データの活用」領域

(要因)

- ・語彙力が低く、題意を正しく読み取る力が低い。
- ・考えたことを相手に分かってもらうために説明しようとする意識が低い。
- ・相手の考えや意図を読み取る力が低い。

《研究主題》

主体的に学び、確かな学力を身に付けた志原っ子の育成

授業改善	取組指標
1 一単位時間の授業の充実 ・『第五版』に基づいた学習過程 ・どのような姿で学ばせ、どのような力を付けさせるかを明確に持った授業計画 ・児童の学びの姿や身に付いた力に焦点を当てた授業参観及び授業研究会	授業分析シート →平均2.5以上
2 「言語活動」の充実【重点取組】 ・算数的な用語や図・数直線・式などを効果的に使った発表 ・友達の説明を理解し自分の考えとつなぐ発言の工夫 ・ICTの効果的な活用	自分と友達の考えを比べながら聞く (児童)→80%
3 「ふりかえる」過程の充実 ・解決結果の良さを味わわせ、本時のねらいに沿った適切な内容と時間の確保 ・「何を」「どれくらい」ふりかえるかを明確に持つ。	適切な問題の設定 (職員)→90% 練習問題が分かる (児童)→80%

学習環境の整備

- 生活習慣の改善と学習習慣の定着
 - ・家庭学習の手引き
 - ・メディアコントロールチャレンジ
 - ・生活習慣アンケート
 - ・長崎県学びの習慣化メソッドの活用
- 読書指導の充実
 - ・ファミリー10分間読書
- 校内の学習環境の充実
 - ・側面ホワイトボードの活用

学力の基礎固め

- はなまるタイムによる基礎基本の定着
 - ・100マス計算(志原っ子検定)
 - ・ICT(ドリルパーク)の活用
- 各学力調査の考察と活用力の育成